

GX 実行会議提出メモ

白石 隆

GX をめぐる情勢と今後の取り組みについて、違和感はない。ぜひ、このラインで進めていただきたい。

半導体、バイオ・テクノロジー、クリーン・テクノロジー、航空宇宙、防衛産業等の分野の技術・製造基盤強化は経済安全保障政策の中心的課題であるが、AI、データセンター等による電力需要の急上昇を見ても明らかな通り、信頼性のある「電化（electrification）」が産業基盤強化そのものとなりつつある。また、安全保障の観点からは、分散型電源と系統の整備による電力供給の多様化も望まれる。その意味で GX は経済安全保障の不可欠の一環であり、GX 関連の投資は高度生産基盤の強化、その基礎をなす人と技術への投資としても大きな意義を持っている。政府としてはこれまで以上に民間セクターに中長期的な投資のインセンティブを提供しつつ、政府もこの分野に投資してほしい。

その上で2点、申し上げたい。

（１）原子力発電所の再稼働が東日本でもやっと承認されたことは大いに歓迎であるが、将来の電気需要の拡大、安全保障における分散型電源の重要性を考えれば、再稼働に加え、次世代革新炉、特に SMR の研究開発と新設、系統の整備、蓄電池、VPP (Virtual Power Plant) の拡大等を政府のリーダーシップの下に進めていただきたい。

（２）「GX 産業クラスター」創出においては、国際関係における準同盟国・同志国との連携強化も考え、再生エネルギー生産でコスト優位性をもつ信頼できるパートナー国と共同して水素の製造、e-fuel の生産に着手する必要がある。民間部門の投資促進のためには、政府として人の育成、技術開発への投資を行うに加え、長期的な政策を明示し、投資のインセンティブを導入することが重要である。中東情勢がこれからますます不安定化する可能性が大きいことを考えるとこれは迅速に実施されるべきである。